

令和5年度

持続可能社会の実現に向けた

世界トップレベル研究推進・社会実装

「ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点構想」

**北海道の農林水産分野における  
「熱利用」を主な機能とする事業での  
ライフサイクルアセスメントプロジェクト**

**募集要項**

国立大学法人 北海道大学

ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点

「知」の集積と活用の中 産学官連携協議会

ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム

## プロジェクトの内容

### 1. 目的

国立大学法人北海道大学では、農林水産業現場の問題解決や技術革新につながる研究プロジェクトを企画・策定・実施し、これにより関連産業の学問領域の創生と、技術革新による農林水産業のロバスト化、さらには農林水産業の魅力向上に寄与することを目的とし、平成30年度から「持続可能社会の実現に向けた世界トップレベル研究推進・社会実装」のうち「ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点構想（以下、ロバスト拠点）」を実施しております。さらに、同年6月から「知」の集積と活用の場 産学官連携協議会「ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム」を設立し活動しております。

本プロジェクトでは、世界の最終エネルギー消費量の50%を報告されている\*（World Energy Outlook2018、IEA）熱エネルギーに注目し、北海道特有の環境下での農林水産分野のGHGの削減には、地域の特性を活かしたエネルギー利用及び地域の連携が重要であることを踏まえ、地域の廃熱・未利用熱等の未利用資源の活用システムや高効率エネルギー供給システム等を構築する事業に対して、LCA（ライフサイクルアセスメント：Life Cycle Assessment）によって、資源利用効率や負荷排出量を、定量的・客観的に分析・評価し、それが全体におよぼす影響・寄与度を把握し、農畜産業由来のGHGの削減を目指すことやLCAを実施できる研究者の育成が重要と考え、目的達成のため令和5年度から新たに、「北海道の農林水産分野における「熱利用」を主な機能とする事業でのライフサイクルアセスメント」を研究開発項目として追加することになりました。

ロバスト拠点では、その研究開発を担う北海道大学内外を対象にした研究チームを募集し、地産地消型エネルギーシステムの構築、農畜産業由来のGHGの削減に寄与し、研究者育成強化を図ることを目指します。

### 2. 公募概要

本プロジェクトの目的達成するため、主として本学教員を研究代表者とした分野横断的な研究チームによる社会実装を明確に意識した研究開発を支援します。

- 期間：令和5年5月下旬以降（予定）～令和5年3月末日
- 経費：年間 上限200万円まで
- 採択予定件数：1件

### 3. 応募資格者

- 研究代表者となれる対象機関
  - ・国立大学法人 北海道大学
- 研究経費の配分可能な分担者となれる対象機関
  - ・国立大学法人 北海道大学
  - ・国立大学法人 帯広畜産大学
  - ・国立大学法人 北見工業大学
  - ・国立大学法人 室蘭工業大学
  - ・学校法人 酪農学園 酪農学園大学
  - ・国立研究開発法人 産業技術総合研究所

- ・国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
- ・地方独立行政法人 北海道立総合研究機構

#### 4. 応募条件

他部局の研究者又は、外部機関が分担者として、最低1名が参画した提案課題であること。

#### 5. 選考について

##### ○ 課題審査<書類審査>

課題の採択に当たっては、北海道大学等から選出された有識者等による審査委員で構成される審査評価会において、課題の選考を経た上で、北海道大学が採択課題を決定します。

##### ○ 審査基準

- ・SDGs のどの項目を「どのように」解決しようとするのか、という視点が検討されているか。
- ・最終的な目標が、よりよい社会を実現するため、インパクトがある目標設定となっているか。
- ・研究成果が将来的には社会課題の解決に繋がることが期待できる。
- ・社会・産業界の巻き込みなど、最終的な目標達成を見据えた展開が期待できる。
- ・研究目標が達成された場合に農林水産業・食品産業のロバスト化に寄与すると期待できる。
- ・参画機関・学部等の能力に応じた役割分担・連携が適切で、分野横断的な研究チームであるか。
- ・研究代表者や参画研究者のこれまでの業績等から見た、研究遂行能力が適切であること。
- ・自らの研究開発構想について、対外的にわかりやすく情報発信ができるか。
- ・国内経済・サプライチェーンへの波及が期待出来るか。
- ・「科学技術・イノベーション基本計画」や「統合イノベーション戦略」、「農林水産研究基本計画」等、国の科学技術政策との整合性があること。
- ・「みどりの食料システム戦略」の推進に資する技術開発を行う研究課題であるか。

#### 6. 応募方法

応募書類（様式3 研究計画書（docx）、ポンチ絵（ppt））に必要事項を記入した上で、電子ファイルを（11.）の提出先までE-mailにより提出してください。メールの件名は「熱利用を主な機能とするLCAプロジェクト応募」としてください。

#### 7. 採択

ロバスト拠点から、研究代表者に対して審査結果（採択の可否）の通知書を送付します。なお、審査の途中経過等に関する問合せは受け付けません。また、採択に当たっては、研究に要する経費、実施体制等に関し、条件を付すことがあります。

#### 8. スケジュール

##### ○ 提案書類受付期間

令和5年4月14日（金曜日）～令和5年5月2日（火曜日）17時00分

##### ○ 採択課題決定

令和5年5月下旬(予定)

## 9. その他

- 公募締切り日時を超過して提出された応募書類は無効とします。
- 応募書類に不備がある場合は審査対象外となる場合があります。
- 応募書類の様式は変更してはいけません(行の追加は可)。また必要がある場合は、適宜参考資料を添付することができます。
- 申請できる研究所要経費は、研究開発等の遂行に直接必要な経費、研究開発成果の取りまとめに必要な直接経費のみです。間接経費はありません。
- 本公募は、国立大学法人 北海道大学が実施している令和5年度「持続可能社会の実現に向けた世界トップレベル研究推進・社会実装」のうち「ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点構想」から研究経費を支出するため、外部機関(国立大学法人 帯広畜産大学、国立大学法人 北見工業大学、国立大学法人 室蘭工業大学、学校法人 酪農学園 酪農学園大学、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構)が分担者となる場合は、国立大学法人 北海道大学と該当機関との間で研究委託契約を締結し、その契約の範囲内において該当機関が研究経費を執行することになります。また、事業終了後、締結した研究委託契約に基づき実績報告書等(報告書・収支簿・証拠書類などを含む)を遅滞なく国立大学法人北海道大学へ提出するものとします。
- 本公募において、研究活動における不正行為(捏造、改ざん、盗用)が認められた場合、もしくは、委託費の不正な使用等が認められた場合には、事案に応じて、研究委託契約の解除・変更を行い、研究活動の不正行為の悪質性等に考慮しつつ、委託費の全部又は一部の返還を求めます。
- 本公募に採択された研究課題に関してロバスト研究会での発表や各種展示会への出展を依頼する場合があります。
- 本公募に採択された研究課題に関して成果報告会(公開)を実施します。
- 論文、メディア(新聞、テレビ等)等において、本研究課題に係る活動又は成果が公表される場合には、事前にその概要をロバスト拠点に報告してください。公表することとなった成果については、知的財産に注意しつつ、国内外の学会、マスコミ等に広く公表し、成果の公開・普及に努めてください。
- 公表に当たっては、本研究課題に係る活動又は成果であることを明記してください。

## 10. ご提出・お問合せ先

国立大学法人 北海道大学 ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点

電話番号：011-706-6741 (内線：6741)

メールアドレス：info\_robust@eng.hokudai.ac.jp